

*データのご利用にあたって

- ・データポリシー JAMSTEC
- ・データ責任者 情報管理部
- ・データの利用制限 データ利用の制限については 注意事項 をご参照ください。
- ・引用方法 データの引用については 注意事項 をご参照ください。

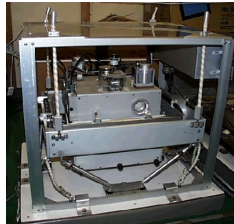
品質

Raw

観測機器

機器名

船上重力計



可搬型相対重力計（- MR11-05 Leg2）



計測装置

1) 船上重力計システム

システムはジャイロ安定台に取り付けた重力センサ部とデータ処理・収録部で構成されている。

- メーカー： LaCoste & Romberg
- 型式： S-116
- 計測範囲： 12,000 mGal
- 測定精度： 1.0 mGal
- ドリフト量： < 3.0mGal/month
- 設置場所： 重力計室
- 参考資料： 「Model "S" Air-Sea Dynamic Gravity Meter System II」 INSTRUCTION MANUAL LaCoste and Romberg Gravity Meters, Inc. 2004

2) 可搬型相対重力計

可搬型相対重力計は、データ処理・収録部と真空恒温槽の中に収納された重力センサ部で構成されている。国土地理院が設置している日本重力基準網の重力基準点の絶対重力値を参照して、着岸中に港の絶対重力値を求めるために使用される。

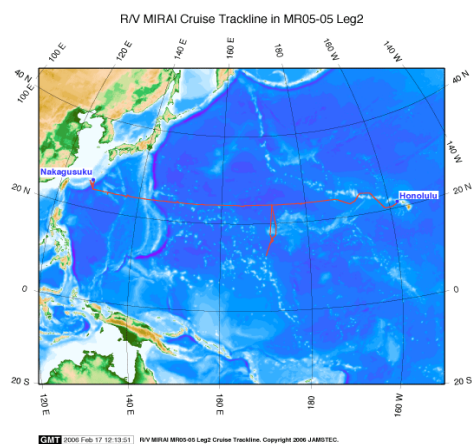
- メーカー： SCINTREX
- 型式： CG-3M
- 計測範囲： 7,000 mGal
- 標準偏差： 0.005 mGal
- ドリフト量： < 0.02 mGal/day
- 参考資料： 「CG-3M AUTOGRAV AUTOMATED GRAVITY METER OPERATOR MANUAL」, SCINTREX

このデータについて

「みらい」海上重力データの一部において、絶対重力値への変換が正常に処理されていないことを確認しました。本航海でも不適切な処理がされておりましたが、2024年3月にデータを精査した結果、機器異常等のため、このデータについては処理を行わないことにしました。

Rawデータの提供を希望される方は「dmo@jamstec.go.jp」にお問い合わせください。

関連情報



MR05-05 Leg2

船舶名：みらい
期間：2005/11/27 - 2006/01/17
主席/首席：金子 郁雄（海洋研究開発機構）
村田 昌彦（海洋研究開発機構）
プロジェクト名：[WOCE再観測]
課題名：アクティブセンサーを用いた東部インド洋海域の雲とエアロゾル特性研究

エアロゾル、雲の立体分布と光学特性の観測

海上気象連続観測による大気海洋間のフラックス観測研究

海水中の栄養塩の動態の研究

海洋における降水の安定同位体観測

海洋環境における放射性核種に長期挙動に関する研究

海洋上エアロゾルの観測による地球温暖化放射強制力の計算精度向上の研究

海洋地球物理観測データの標準化及び海洋底ダイナミクスへの応用に関する研究

黒潮輸送・海面フラックスの研究

大気海洋間の海洋起源気体の同位体を用いた循環解析

東シナ海・中国大陸物質循環・気象相互作用研究

北太平洋亜寒帯域における水温・塩分の変動（国際ARGO計画）

Gravity Corrected フォーマット

No.	カラム	項目	表示書式	単位	備考
1	1 - 8	日付	i4,i2,i2		YYYYMMDD (UTC)
2	10 - 15	時刻	i2,i2,i2		hhmmss (UTC)
3	17 -25	緯度	f9.5	度	南緯は-マイナスで表記
4	27 -36	経度	f10.5	度	西経は-マイナスで表記
5	38 -45	絶対重力値	f8.1	mGal	
6	48 -53	フリーエア異常値	f6.1	mGal	